



## 大人向け講座 「おすすめ絵本紹介」

絵本に興味のある方や、読み聞かせボランティアをされている方、これから始めようとしている方向けに、おすすめの絵本を紹介します。





### 12月6日(金)

10:30~11:30  
対象：どなたでも  
定員：10名(要申込・先着順)

詳しくはチラシをご覧ください

 11月12日(火)から吉良図書館カウンターにて受付開始。  
翌13日(水)からは電話での受付も行います!



## 展示ピックアップ

### 「読書のしかたいろいろ」

12月1日~12月28日 一般壁面展示

やさしく読みやすいLL本をはじめ、大活字本、洋書、電子書籍など、誰もが読書を楽しめるよう工夫された本を紹介します。

## その他の展示コーナー

- 「よく考えて! お金は大事だよ」 (11月/一般壁面展示)
- 「家族の物語」 (11月/正面展示)
- 「麗しき日本の着物」 (11月/歴史展示)
- 「おくりもの」 (12月/正面展示)
- 「日本の郷土料理」 (12月/歴史展示)

## NEWS

### ~欲しい本、見つけた! 『本と雑誌のリサイクル』~

図書館での役目を終えた本を有効活用していただくため、吉良図書館では毎年リサイクルバザーを行っています。  
今年は8月31日・9月1日に開催しました。毎年大人気の企画で、今回も初日の午前中は混雑を避けるために整理券を配るほど盛況でした。また「2日目のほうが落ち着いて選べるので」とじっくり吟味して本を持ち帰る方もいらっしゃいました。また来年もお待ちしております!



	月	火	水	木	金	土	日
					1	2	3 ▲
11	4	5	6 ★	7	8	9 ●	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20 ★	21	22	23 読書の日	24
	25	26	27	28	29	30	

	月	火	水	木	金	土	日
							1 ▲
12	2	3	4 ★	5	6 絵本紹介	7	8
	9	10	11	12	13	14 ●	15
	16	17	18 ★	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30	31					

- ★ おはなしキラキラ
- おはなしくるりん
- ▲ よみきかせ会
- 土曜 おはなし会

※12/29~1/3 年末年始休館

## 世尊寺殿の猫

アグニュー恭子／著  
論創社 (913.6/アグ)

鎌倉末期、16歳の足利高国（後の直義）は世尊寺殿を訪ねるよう母に命じられる。師事を希望する鎌倉じゅうの武家を断った書の名人に、目当ての猫と引き換えに書を渡すと言われ…。足利尊氏の弟・直義が挑む青春ミステリーです。



## サイクルライフ スポーツ自転車12人の楽しみ方

×基礎知識×いま乗りたい定番&人気自転車71  
暮らしの図鑑編集部／編著  
翔泳社 (786/サイ)

旅やツーリング、そして日常使いでも、幅広く楽しめるスポーツ自転車。12人のサイクリストが明かす自転車の楽しみ方から、基礎知識、定番&人気の自転車の紹介まで、サイクルライフに挑戦したくなる一冊です。



お  
す  
す  
め  
の  
新  
刊

## 日本人の英語発音から脱却！ ネイティブみたいに発音したい！ 英語発音徹底攻略マニュアル

小川直樹／著  
研究社 (831/カ)

英語の発音でぶつかるLとRの壁。でも日本人ができないのはLだった！英語音声学者の著者が、実際に大学生に教えた経験をもとに、発音の攻略方法をわかりやすく説明しています。



タイトル	著者名	
考えすぎて動けない自分が、「すぐやる人」に変わる本	内藤誼人/著	159/ナ
ドラマで読む韓国 なぜ主人公は復讐を遂げるのか	金光英実/著	5302/加
東洋医学のやさしい教科書 基本を学んで心身を整える！	三浦於菟/監修	490.9/トリ
動いてパタストレッチ 子ども「やわらかさ」激変！	木村匡宏/著	781/木
短物語	西尾維新/著	913.6/ニシ
彼方此方の空に粗茶一服	松村栄子/著	913.6/マツ
終わるまではすべてが永遠 崩壊を巡るいくつかの欠片	木澤佐登志/著	914.6/キザ

## スタッフの推し本！

～図書館スタッフが交代でおすすめの本を紹介するリレー企画です～

### 植物

今回の推し本  
料理でストレス発散！犬をこよなく愛するスタッフ



#### 愛なき世界

三浦しをん／著  
中央公論新社 (913.6/ミカ)

見習い料理人藤丸が好きになったのは、植物に魅了された大学院生の本村。二人の恋愛模様やいかにと期待すると、ちょっと肩透かしを食らうかもしれません。二人を取り巻く人々もユニークな人ばかり。時々キラッと光る藤丸のやさしい言葉に癒されます。『草食系恋愛小説の名手』に拍手！

#### 身近な植物の賢い生きかた

稲垣栄洋／著  
筑摩書房 (471/イ)

取っても取っても減らない雑草たち。その生命力にはもうお手上げの人も多いのではないのでしょうか？植物は生き残るために、仲間の植物、昆虫や動物を利用し、色や形、エネルギーの摂取法さえ変化させ生き抜いてきたのだと思うと、尊敬の念さえ覚えます。とはいえ、雑草はやっぱり無い方がいい(笑)